

あなたの声を確実に実行します。

びとよしあき

検索

<http://seki-bitou.jp>

びとよしあき 義昭

県政報告

第12号・令和元年12月

尾藤義昭後援会事務所 〒501-3838岐阜県関市東門前町6 ☎0575 22 6286



少子化対策・子育て支援の推進に関するご意見を
政府・与党にお届けしました。



平成29年第5回岐阜県議会定例会において「保育所における感染症対策ガイドライン」の発熱時の保育所の対応が「園児の体温が37.5℃以上ある場合は登園を控えるのが望ましい」が、現場においては「登園を控える」というあやまった解釈となっている点について質問致しました。

この質問がきっかけとなり、「園児の個々の平熱に応じて、登園は個別に判断する」と明記された同ガイドラインの改訂版が発行されました。

登園を控えるのが望ましい場合

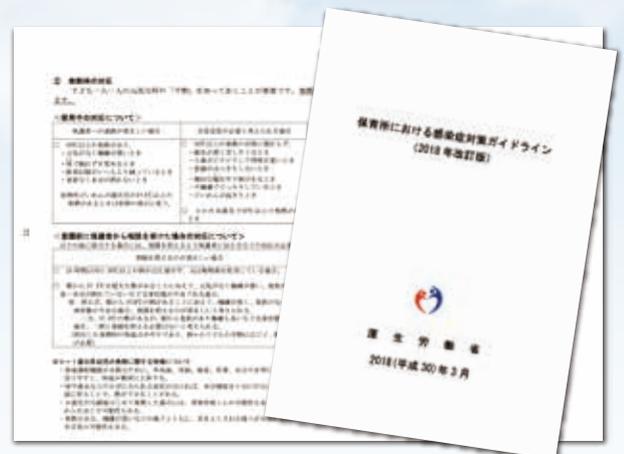
○24時間以内に38℃以上の熱が出た場合や、又は解熱剤を使用している場合。

○朝から37.5℃を超えた熱があることに加えて、元気がなく機嫌が悪い、食欲がなく朝食・水分が摂れていないなど全身状態が不良である場合。

※例えば、朝から37.8℃の熱があることに加えて、機嫌が悪く、食欲がないなど全身状態が不良な場合、登園を控えるのが望ましいと考えられる。

一方、37.8℃の熱があるが、朝から食欲があり機嫌も良いなど全身状態が良好な場合、一律に登園を控える必要はないと考えられる。

(例示した発熱時の体温はめやすであり、個々の子どもの平熱に応じて、個別に判断が必要)



厚生労働省発行

「保育所における感染症ガイドライン」

(平成30年3月改訂版)から抜粋

岐阜県で豚コレラワクチン約4万頭に接種しました。

岐阜県では令和元年10月25日に初回のCFS(豚コレラ)予防的ワクチン接種を開始し、追加接種を含め11月27日迄に約4万頭に接種しました。



豚コレラ問題の経過	
2018年9月9日	岐阜県が岐阜市の養豚場で豚コレラ感染が確認されたと発表。国内では26年ぶりの発生
2019年2月6日	愛知県豊田市の養豚場で感染確認。出荷先の長野県、滋賀県、大阪府などでも感染が判明
3月24日	野生イノシシ向けのワクチン入り餌の埋設を愛知県で開始
7月24日	三重県いなべ市の養豚場で感染確認
7月29日	福井県越前市の養豚場で感染確認
9月5日	農林水産省がワクチン入り餌の散布拡大といった対策を発表
9月13日	埼玉県秩父市の養豚場で感染確認
9月14日	長野県塩尻市の県畜産試験場で感染確認
10月15日	農水省が豚へのワクチン接種のために防疫指針を改定
10月25日	岐阜など6県で豚へのワクチン接種開始

※岐阜新聞より

岐阜県では養豚業再生に向けた支援策を実施します。

新規予算

養豚業再生支援のための補助制度(ソフト対策)の創設 (10,000千円)

発生農家の再開に向けた取組みや掛増し経費に対する補助制度を創設。

予算拡充

発生農家の経営再開に向けたハード整備への支援 (20,000千円)

発生農家における防疫対策強化のための施設整備を促進し、経営再開を後押し。

予算拡充

県産豚肉の販売促進 (5,000千円)

県内の販売所、小売店等における県産豚肉を全面に出した地産・地消 ウィークの開催や、ギフトプレミアム(名古屋の岐阜県産品アンテナショップ)における県産豚肉の販売促進フェアを開催。

新規予算

養豚業再生支援ワンストップ窓口(仮称)の設置

家畜伝染病対策課内に支援窓口を設置し、経営再開に係る相談等に対応。

新規予算

ワクチン接種手数料の免除

発生農家が再導入する繁殖豚に係る接種手数料について、繁殖豚の頭数が発生前の水準に回復するまでの間、免除(来年度末まで)。※初回一斉接種に係る手数料は、免除済み。